

平成31年度

中頓別町財務書類

中頓別町

令和3年3月

目次

(1) はじめに	・ ・ ・ 1
(2) 財務書類の作成範囲	・ ・ ・ 1
(3) 財務書類の種類	・ ・ ・ 2
(4) 平成31年度財務書類4表	・ ・ ・ 3
(5) 住民一人当たりの財務書類	・ ・ ・ 7

(1) はじめに

現在、地方公共団体が採用する会計は、予算の適正・確実な執行を図るために現金の収支に着目した現金主義を基本としています。しかし、現金以外の資産や負債の状況がつかみにくいことや正確な行政コストの把握ができないなどの問題点が指摘されてきました。そこで、企業会計が採用する発生主義に基づいた考え方を加えることで、現金主義ではつかみにくかった情報が見える化できるようになりました。また、国が統一的な基準を設けることにより自治体間の財務書類の比較が容易になり財政状況の特徴や課題が理解しやすくなりました。

(2) 財務書類の作成範囲

財務書類の作成の範囲は以下のとおりとなります。

連結財務書類 ※3	全体財務書類 ※2	一般会計等財務書類※1	一般会計 自動車学校特別会計
		国民健康保険病院事業特別会計 水道事業特別会計 下水道事業特別会計 介護保険事業特別会計 後期高齢者医療事業特別会計	
	南宗谷消防組合 南宗谷衛生施設組合 北海道市町村備荒資金組合		

統一的な基準による財務書類が作成されることになってから、すべての自治体において、一般会計等・全体・連結財務書類の3種類が作成及び公表されることとなっています。

※1…一般会計と特別会計の一部を統合したもの

※2…※1に他の特別会計を統合したもの

※3…※2に一部事務組合などの他団体を統合したもの

(3) 財務書類の種類

①貸借対照表（BS）

基準日時点における財政状態（試算・負債・純資産の残高及び内訳）を表示したものの。

②行政コスト計算書（PL）

一会計期間中の費用・収益の取引高を表示したものの。

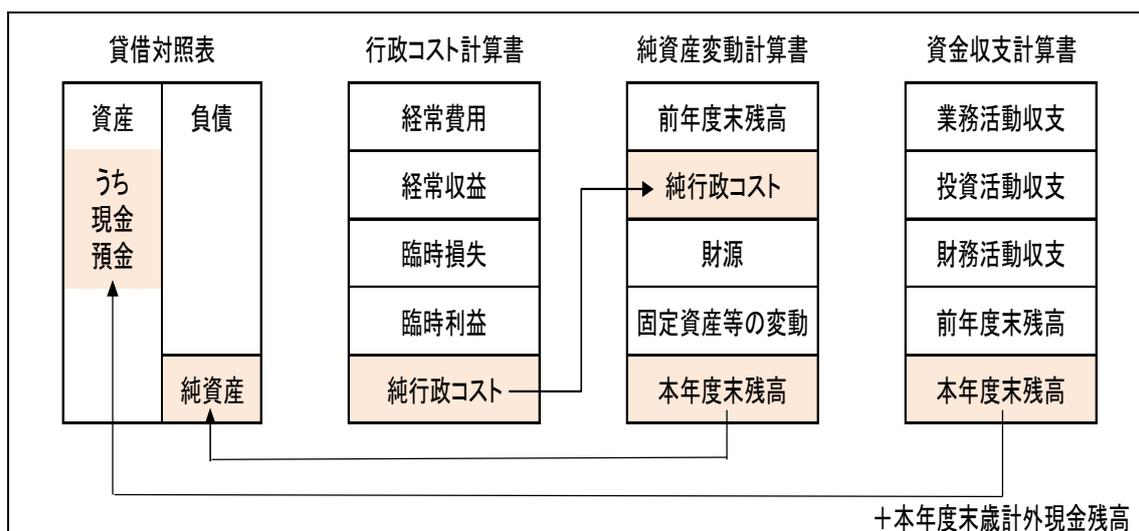
③純資産変動計算書（NW）

一会計期間中の純資産（及びその内部構成）の変動を表示したものの。

④資金収支計算書（CF）

一会計期間中の現金の受払いを3つの区分で表示したものの。

【財務書類4表構成の相互関係】



③純資産変動計算書

(単位:千円)

	一般会計等	全体	連結
【前年度末純資産残高】	10,677,678	10,947,104	
純行政コスト(△)	△ 3,366,738	△ 3,301,330	
財源	3,174,293	3,216,987	
税金等	2,441,756	2,441,756	
国県等補助金	732,537	775,231	
本年度収支差額	△ 192,445	△ 84,343	
資産評価差額等	1,420	1,420	
【本年度末純資産変動額】	△ 191,025	△ 82,923	
【本年度末純資産残高】	10,486,653	10,864,180	

純資産は前年度末に比べ、一般会計等で191,025千円の減額、全体で82,923千円の減額となっています。

人口減少などに伴い、税金の伸びが見込めないため、純資産は減少傾向にあります。

連結については連結団体から数値がきていないため作成できておらず、表記しておりません。(連結団体からの数値が届き次第反映いたします。)

④資産収支計算書

(単位:千円)

	一般会計等	全体	連結
業務活動収支	107,724	252,407	
業務支出(人件費、物件費、補助金など)	3,221,560	3,211,035	
業務収入(税収入、国県等補助金、使用料・手数料など)	3,306,275	3,397,740	
臨時支出(災害復旧事業費など)			
臨時収入	23,009	65,703	
投資活動収支	△ 309,474	△ 394,779	
投資活動支出(公共施設等整備費、基金積立金など)	833,215	918,520	
投資活動収入(国県等補助金、基金取崩など)	523,741	523,741	
財務活動収支	408,487	350,079	
財務活動支出(地方債償還など)	351,564	427,572	
財務活動収入(地方債発行など)	760,051	777,651	
本年度資金収支額	206,737	207,708	
前年度末資金残高	706,574	713,664	
本年度末資金残高	913,312	921,372	
本年度末歳計外現金残高			
本年度末現金預金残高	913,312	921,372	

業務活動収支は、一般会計等で107,724千円の黒字、全体で252,407千円の黒字となりました。

投資活動収支は、一般会計等で309,474千円の赤字、全体で394,779千円の赤字となりました。

財務活動収支は、一般会計等で408,487千円の黒字、全体で350,079千円の黒字となりました。

一般会計等では投資活動収支が赤字となっておりますが、業務活動収支及び財務活動収支が黒字となっており、資金収支としては206,737千円の増となっております。

全体においても投資活動収支が赤字となっておりますが、業務活動収支及び財務活動収支が黒字となっており、資金収支としては207,708千円の増とな

っております。

連結については連結団体から数値がきていないため作成できておらず、表記しておりません。(連結団体からの数値が届き次第反映いたします。)

(5) 住民一人あたりの財務書類

ここでは貸借対照表及び行政コスト計算書を用いて、住民一人あたりに置き換えた場合どうなるかを示していきます。

○令和2年3月31日現在人口1,663人(住民基本台帳より)

①貸借対照表

(単位:千円)

【資産の部】				【負債の部】			
	一般会計等	全体	連結		一般会計等	全体	連結
固定資産	7,079	7,718	0	固定負債	3,490	3,864	0
有形固定資産	6,967	7,606	0	地方債等	3,065	3,438	0
事業用資産	911	911	0	退職手当引当金	431	431	0
インフラ資産	5,950	6,586	0	その他	▲6	▲6	0
物品	107	109	0	流動負債	283	326	0
無形固定資産	4	4	0	1年以内償還予定 地方債	269	313	0
投資その他の資産	108	108	0	賞与等引当金	13	13	0
流動資産	3,000	3,005	0	その他	0	0	0
現金預金	549	554	0	負債合計	3,773	4,189	0
基金	929	929	0	【純資産の部】	6,306	6,533	0
その他	1,521	1,521	0	負債・純資産合計	10,079	10,722	0
資産合計	10,079	10,722	0				

一般会計等において資産は10,079千円であり、うち純資産は6,306千円(62.6%)、負債は3,773千円(37.4%)となっています。

全体において資産は10,722千円であり、うち純資産は6,533千円(60.9%)、負債は4,189千円(39.1%)となっています。

連結については連結団体から数値がきていないため作成できておらず、表記しておりません。(連結団体からの数値が届き次第反映いたします。)

②行政コスト計算書

(単位:千円)

【経常費用】				【経常収益】			
	一般会計等	全体	連結		一般会計等	全体	連結
業務費用	1,080	1,159	0	使用料及び手数料	56	106	0
人件費	295	299	0	その他	145	151	0
職員給与費	280	284	0	経常収益合計	201	257	0
賞与引当繰入金	0	0	0	【臨時利益】	0	0	0
退職手当引当繰入金	0	0	0				
その他	15	15	0				
物件費等	768	833	0				
物件費	386	420	0				
維持補修費	81	90	0				
減価償却費	289	311	0				
その他	12	12	0				
その他の業務費用	18	28	0				
支払利息	11	21	0				
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	【純行政コスト】	2,024	1,985	0
その他	7	7	0				
移転費用	1,145	1,083	0				
補助金等	932	933	0				
社会保障給付	142	142	0				
他会計への繰出金	70	0	0				
その他	1	3	0				
経常費用合計	2,226	2,242	0				
【臨時損失】	0	0	0				

純行政コストは一般会計等で2,226千円、全体で2,242千円となっています。

連結については連結団体から数値がきていないため作成できておらず、表記しておりません。(連結団体からの数値が届き次第反映いたします。)